

2022年度事業報告書

2022年10月1日から2023年9月分30日まで

特定非営利活動法人IATH 代表理事 今田並木子

2022年度も感染症流行の影響により、期初に計画した通りの結果は得られなかったが、2023年5月より感染症が5類に分類された為、日常が戻りつつある。活動も再開し始め、高齢者向けセラピー「はなばす号」の新規提供先が増えたことにより、提供を行う「はなばすセラピスト」養成を進めた。

また、社会ニーズと時勢に合わせた「こころしなやかプロジェクト」による社会貢献事業の提供ルートの確保に向けて活動を進め、来期、川西市男女参画センター・市民活動センターで採用いただいた。十字屋カルチャーよりTA1DAY提供先の拡充依頼があり、提供に向けて講師候補にレクチャーを行った。グラスルーエセラピスト勉強会から発展した「からラボ」では色の研究を進めた。ユニークな企画、オンラインサークル「カラーファンファン」の活動を行った。

1. 事業成果

下記において成果があった。

① セラピスト養成事業

1. フラワーハートセラピスト養成ベーシック講師2名を新規登録した。
2. 高齢者のためのフラワーハートセラピー「はなばす号」事業に従事するセラピストの養成プログラムはなばすセラピスト養成講座全10単元を全5回に短縮したダイジェスト版の初回を全セラピスト対象に無料で2回オンライン実施した。また、はなばすセラピスト養成講座ダイジェスト版(全4回)をフラワーハートセラピスト対象にオンラインで実施。
3. TA1day 講座講師レクチャーを2回オンラインで実施した。

② 個人セラピー事業、グループセラピー事業

1. 「はなばす号」事業は関東で1施設、関西で1施設の新規提供先あり。感染症対策のため活動休止継続中の施設については要望により再開を目指す。
2. 「はなばす号」活動休止施設向けに押し花のクリスマスカードを作成し、贈る活動を行った。

③ フラワーアレンジメント事業

1. 当法人所属のセラピストにより、各地でセラピーアレンジメントが実施された。

2. 事業実施に関する事項

Ⅰ. セラピスト養成事業

① 勉強会

1. セラピストのための心理学(大阪) 感染症対策のため延期。
2. グラスルーエセラピストによる色の研究「からラボ」を4回実施。
3. オンラインサークル「カラーファンファン」 毎月1回、計12回実施。

② セラピスト・講師養成

1. フラワーハートセラピスト養成講座セラピストコース(大阪)延期中。
2. はなばすセラピスト養成講座ダイジェスト版初回を全セラピスト向けに、2回オンラインで実施した。はなばすセラピスト養成講座ダイジェスト版(4回)フラワーハートセラピスト向けに4回オンラインで実施した。その結果、受講者により「はなばす号」が6回実施された。

3, TA1day 講座講師レクチャーを2回実施。

II. 個人・グループセラピー事業

① ボランティア事業

高齢者向けフラワーハートセラピー「はなばす号」は「コトニア吉祥寺」で5回実施。

「スーパーコートプレミアム池田」で1回実施。

② 支部活動

1. 関東支部

打合せ会(5回)

会員交流を目的としたお散歩企画、はなばす活動支援、こころしなプロジェクト STEP1 読み合わせ。

2. 東北支部 休止中。

③ 認定校活動

各地で認定校活動を実施。

④ セミナー講師派遣

1. JEUGIAカルチャーセンター「コミュニケーション心理アドバイザー」資格認定講座(1day)

(ア) アクアウォーク大垣 依頼数 1回

(イ) モレラ岐阜 依頼数 2回

(ウ) 多摩センター 依頼数 1回

2. 三木市社会福祉協議会ボランティア活動プラザみき主催・三木市 講座依頼

「お花の持つチカラをいかした聴き上手ボランティア」講座

実施日 2023年6月21日(水) 参加者 10名

傾聴ボランティアで活動をされている方、今から活動を始める方に向けて、フラワーハートセラピーと傾聴についての入門講座を行った。また、実際にアレンジメントのワークを行い、フラワーハートセラピー体験を通して、その効果を実感していただいた。ストロークのワークの中でコミュニケーションツールとして花IATHカードを使用。フラワーハートセラピーの普及を行った。

また、「こころしなやかプロジェクト」を案内した。

⑤ その他 花育活動 (各地でイベントの参加、花育教室の定期開催を行う)

⑥ プロジェクト活動

こころしなやかプロジェクト

(ア) 広く一般にメンタルヘルスを提供するための4プログラムを提供に向けて、中間支援団体(大阪 NPO センター)にマッチングを依頼。川西市男女参画センター・市民活動センターで採用いただいた。今後も中間支援団体と連携して提供ルートの確保に向けて活動を継続する。

(イ) プロジェクトの次ステップ展開を検討。一般提供に向けて活動を継続する予定。

(ウ) 4プログラムのダイジェスト版を作成。川西市男女共同参画・市民活動センター様主催の講座「豊かなコミュニケーションのために～ココロを栄養で満たしましょう～」を来期11月に実施。その後、12月「心の姿を見える化しましょう」、2024年1月「こころの現在地を見つけましょう」を実施することとなった。

III. フラワーアレンジメント事業

当法人所属のセラピストにより各地でセラピーアレンジメントが実施された。

3. 広報活動

- I. 法人ホームページ、フェイスブック
- II. メール配信システムによる告知、連絡など等を実施した。

4. 役員の役割分担を実施。

I. 事業担当

- ① はなばすセラピスト養成講座・はなばすセラピスト養成講座ダイジェスト版の開催を準備した。
- ② ここしなプロの会員向け提供の実施。
- ③ ここしなプロの一般提供について価格設定、販売方法、出荷方法、管理方法の検討。
- ④ ここしなプロ提供先、営業方法の検討。
- ⑤ 色の研究会「からラボ」の実施。
- ⑥ オンライン色のサークル「からーいあんいあん」の検討、実施。
- ⑦ ベーシング講師デビュー講座の実施に向けてサポートを検討。ツールの開発を講師に依頼した。

II. 財務担当

- ① 事業展開についての予算の検討。
- ② 時期事業計画書案および予算案の検討。
- ③ 事務所の契約内容が来期より変更になることを受け、事務所整理を実施。経費削減を検討した。

III. 調査・情報収集担当

助成金・イベント・地域活動等情報収集、社会ニーズ、トレンドの把握調活動を担当するも、活動実績無し。

IV. 支部担当

- ① 会員交流を目的としたお散歩企画、来期10月21日実施。はなばす活動支援。ここしなプロ(STEP1、2)読み合わせ会の実施。

5. 社員総会の開催状況

1. 開催日時：令和4年11月12日(土) 12時30分

1. 開催場所：オンライン会議システムによる開催

1. 総社員数：63名

1. 出席社員数：48名 (内訳 本人出席 11名 委任状出席 37名)

定刻に至り理事長の挨拶を経た後、司会者が開会を宣し、本日の社員総数は定款に基づき定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げ、議長の選任方法をはかったところ、満場一致をもって吉原吉志美が議長に選出された。

1. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果

第1号議案 事業報告書、財産目録、貸借対照表及び活動計算書付議の件

議長より本件の詳細報告を行い、監事より当法人の当期(2021年10月1日から2022年9月30日まで)の監査について詳細報告させた後、これらの承認を求める旨を議場に諮ったところ、満場異議なく可決承認した。

第2号事案 2023年度事業・予算計画について

議長は、理事より本案について付議された旨を述べ、これを議場に諮ったところ満場一致をもって可決決定した。

第3号議事 役員任期満了につき予選の件

議長は、理事1名、監事2名が2021年11月16日に任期満了となる旨を述べ、その予選を議場に諮ったところ、満場一致をもって理事及び監事に選任され、被選任者は、いずれもの席上で2022年11月16日から就任する旨、承諾した。以上をもって本日の議事が終了したので、その他連絡事項等を経た後、議長は午後1時10分閉会を宣言した。

6. 理事会その他の役員会の開催状況

■第1回理事会

1. 開催日時:令和4年11月5日 9時17分～12時40分

場所:各自宅より Googlemeet ビデオ通話を利用してオンライン会議

1. 2021年度の会計報告と監査報告

事業報告書・活動計算書・貸借対照表・財産目録の確認と監査報告書の確認と承認。承認後、所轄庁へ提出することを議決した。

1. 2022年度活動予算案と事業計画案の確認

活動事業に係る予算案及び事業計画案の確認と承認。承認後、所轄庁に提出することを議決した。

1. はなばすセラピスト資格認定に関する確認

セラピスト名称を高年齢者向けセラピー「はなばす号」はなばすセラピストとすること。会員規定の改訂の確認と承認。今後のセラピスト育成については事業担当役員で検討、理事会の承認を得て進めることを確認した。

1. 2021年度役員の役割分担の活動報告と2022年度の活動方針の報告

各担当より2021年度活動報告と2022年度活動方針の報告あり。各々が協力して活動することを確認した。

1. 2022年度定期総会の内容の確認

1. 役員の任期満了に伴う改選について

理事1名、監事2名の再任を承認。

2. 総会プログラムの確認と総会後の「はなばすセラピスト養成コースダイジェスト版初回」の実施についての確認。

「はなばすセラピスト養成コースダイジェスト版」(全4回)の開催日程について、3クラスで日程設定しているが全クラスを開講するのか、クラスを絞るのか検討。申し込み状況を踏まえ、実施日程を理事会で決定することで一致した。

■第1回運営会議

1. 開催日時:令和5年6月24日 10時05分～13時35分

場所:各自宅より Googlemeet の通話を利用してオンライン会議

1. 大阪NPOセンターレンタルスペース入居者説明会の報告と今後について

2023年5月30日説明会に事務局2名参加。現在契約中のレンタルスペース B 月額利用料は変更なく17000円。共益費は昨今の燃料光熱費の値上げに伴い2023年10月分から3500円から5000円に値上げになる。レンタルロッカーを現在2個利用しているが1個利用に変更になる。ミーティングスペースは、大阪NPOセンター事務室スペース内オープンスペースに移動。コワーキングスペース利用契約者は無料使用可能。セミナースペースは現在の使用料から変更なし。また、バーチャルオフィス機能を追加するため、デスクブースの拡張、レンタルロッカー(月額利用料1650円)、メールボックス(月額利用料5500円)の設置に伴い、レンタルスペースのレイアウトを変更する為、7月末までに備品以外の荷物の整理の依頼を受けた。会計担当と事務局で今後の契約について検討。大阪NPOセンターの会員であることは運営上メリットが多く、事務所を移転するとなると手続きや諸費用もかかることを考慮して、値上げ分の経費の捻出を検討した。月額利用料が1500円値上げになると、年間18000円経費がかかる。毎月一回の理事会費(サイボウズ)を、現在1000円 x 8名 x 12ヶ月 = 96000円計上しているが500円に見直すことで、480000円の経費を捻出できる。また、事務局事務所勤務時の食事手当1000円を500円とする検討していることを報告。大阪NPOセンターレンタルスペースの契約を継続することを提案した。

荷物の整理は6月19日に大まかに分別したことを報告。廃棄品のリスト作成と重要と思われる書面はスキャンしてデータ化する作業を進めることとする。

1. 認定校、認定講師の活動展開、こころしなプロの活動展開について

認定校、認定講師の活動支援については、やる気があり活動したい方にのみ、活動を支援することで一致。次回理事会までに、ストレスマネジメントを地域などに提供するための採用担当者へ提出する企画書のフォーマット作成を事務局に依頼した。また、セラピストとして講座を実践する経験を積むために、先ずは、今期登録のベーシック認定講師2名で協力し、テーマ別セラピーやストレスマネジメントの体験講座を10月スタートで企画・実践。その際に会員に向けて講座を実践するので受講生として参加してもらえないかとメールなどで参加を募り、実践体験のサポートをすることを確認した。こころしなやかプロジェクトの活動展開については、事業担当より3月22日大阪NPOセンターに事業相談をしたことを報告。その際に映像を付けるとよりわかりやすくなると助言あり。現在作成中のSTEP1のプロジェクト参加者のみ閲覧できる動画を視聴した後、各STEPの映像製作を進めることを講師に依頼した。また、社内研修や男女参画、地域活動に講座として提供することを企画。大阪市内の施設で社内研修として採用に向け交渉を進めていること、STEP1の簡易版を川西市の講師デビュー講座に採用いただき、7月4日担当者様と講座内容の打ち合わせをすること、簡易版講座からSTEP1~4に繋げることを報告した。こころしなプロを講座スタイルで提供して収益を上げることを希望する声もあり。講座スタイルで提供するのであれば、どこでどのような方にどのように提供するのかを明確にし、具体的な企画書を作成し、その為のサポートを講師に依頼することが必要だということを確認した。

1. 休校中TA 講座について

講座受講希望者は1名のため、個別対応とする。

1. 下半期の活動について

関東支部・会員向け講座担当の木村理事より、秋に鎌倉で花めぐり散策プランの企画中であることの報告あり。企画が決まり次第、会員向けにお知らせすることを確認した。はなばす号利用施設様が増加傾向にあるが、依頼は平日の午後昼間であるため、マンパワー不足が課題となっている。平日日中に活動でき、体力があり、継続可能な若い世代のセラピストを育成するために、大学と連携できないかを模索。ボランティア活動は大学生の就職活動の際にも影響があるため、大学のボランティアセンターに問い合わせることから始める。6月21日に三木市地域包括支援センター主催のお花の持つ力を活かした聴き上手ボランティア講座3コースの初回をIATHが担当。地域の高齢者や引きこもり家庭へお花屋さんに依頼したミニアレンジを持って訪問する傾聴ボランティア活動をしているお花し友の会の方が参加。提供するフラワーハートセラピー講座のストロークの実践ワークで花IATHカードを使用。ストロークのツールとして活用を提案すると、参加できなかった方やバースデーカードとして利用や自分の癒しのためにと購入希望があり、販売したことを報告。現在、IATHにある花図鑑や花IATHカードの販売先を検討。不登校児の支援団体やがんセンターを支援するNPO法人、子育てサークルなどにセット購入してもらい、利益を得ていただく形で提供することで手間がかからず、手離れが良く収益を上げることができることを確認。販売先はサイボウズで検討することとする。

3月22日の大阪NPOセンターに①会員数の減少、会員の高齢化、資格は維持しているが使えない会員が多い。②運営力が無く、運営資金の調達ができなければ、活動が難しくなると相談。回答結果は、NPO法人の会員は一人一人が法人の活動に参加賛同するもので、全員が同じ平等な会員であること。一部の会員が仕事を負担するのではなく皆の力を出し合うのが良い。役割分担をしているのであれば、機能することが望ましい。また、NPO法人は、会費と寄付を運営資金にしている団体がほとんどである。法人のHP やリーフレット、はなばす号やこころしなやかプロジェクトなど、法人活動のチラシに掲載し、活動先にアピール。賛同者からの寄付を集める意識を持つようにとアドバイスがあったことを報告。クラウドファンディングサイトを立ち上げる場合は、その責任者の決定などを調査・情報収集担当理事で検討することを確認。サイボウズで検討することとする。次回、運営会議を8月お盆明けに開催、日程はサイボウズで検討することとする。

■第2回運営会議

1. 開催日時:令和5年8月24日 19時31分～21時29分

場所:Google meet を利用して、各自宅よりオンライン開催

1. 事務所であるレンタルオフィスの家賃値上げとレイアウト変更に伴う案件

大阪NPOセンターレンタルスペース B の契約を継続利用する場合、共益費は1500円の値上げ年間18000円経費捻出が必要となる。経費の捻出のため理事会費見直しを検討した。毎月一回の理事会費を500円とし、来期より採用することを全会一致で承認した。レイアウト変更に伴う荷物の仕分けについては、担当者より完了の報告あり。廃棄品リストは作成次第報告する。また、仕分け作業中に大阪NPOセンターより説明会の内容とは違うレイアウト変更の提示あり。変更内容が不確定なため、安全面について確認の上、サイボウズで報告することを確認した。

1. 定期総会及び総会前理事会の日程について

定期総会の日程は、11月11日(土)11時からオンライン開催を基本とするが会員向けに大阪NPOセンターセミナースペースに会場設定すること、午後にワークショップを実施することを全会一致で承認した。また、総会時には任期満了に伴う役員の改選があり、総会終了次第、理事長の選出のため理事会を開くことを確認した。

総会前理事会の日程は、11月7日(火)19時半～オンライン開催とすることを全会一致で承認した。

1. 認定校・認定講師の活動展開・こしなプロの展開・休講中 TA の個別対応について

認定校・認定講師の活動展開については、ベーシック認定講師による体験講座はストレスマネジメントを実施することとする。日程は総会後に設定。認定校講師や会員向けに案内予定。実践体験サポートとして、ストレスマネジメントの授業を誰でも同じようにできるレジュメを作成中。9月29日に内容の検討会議を予定。作成中の資料を活用すれば企業研修なども可能になるとの報告を受けた。TA1dayについても同様に進める。

こしなプロの展開については、11月29日に川西市デビュー講座に採用され、3回実施予定を報告。STEP1を3回に分けて実施する講座を企画し、講座の中で花IATHカードを使用したワークを実施すること、総会後のワークショップでも同じ内容を実施することを報告。また、こしなプロ参加者のみが閲覧できる動画作成中。動画の閲覧方法については検討中であることの報告を受けた。休講中 TA については、受講希望者が1名のため、講師が個別対応とするとの報告を受けた。

1. 下半期の活動:関東支部の催事、花図鑑、花 IATH カードの販売先検討について

関東支部の催事については、木村理事より連絡があった「秋の鎌倉さんぽ」の内容の確認。会員向けにメール送信することを承認した。花 IATH カードの販売先検討については、生花を持っていけない場所での活用の提案を検討。小児医療センター等では親子の交流に、訪問看護師と利用者様、特養など高齢者施設では家族のコミュニケーションツールとして活用の提案していくことを確認した。

今田理事長より花IATHカードを店舗に置いても良いとのお話があることの報告あり。具体的に進めていただくことを確認した。

1. 来期に向けての事業・運営について

役員の役割分担の目的は、事務局の負担を軽減し、本来の仕事に専念できるよう改善すること、理事会運営が滞りなく進むことであるが、現状の役割分担は殆ど機能しておらず、理事会運営が停滞している。このことを踏まえ、理事会の活性化に向けて見直すことを検討した。現在は仕事ごとに役割分担しているが、今後は活動ごとに分担する。その活動に携わる会員で構成し、役員の中からリーダーを担うことを承認した。活動するメンバーが交流できる掲示板をサイボウズで作成、情報交換等に活用することを承認した。各支部についても、活動している地域のくくりではなく、「はなばす号」「広報」「からふぁん」「花育」「会員交流企画」など活動名でグループ分けすることを承認した。その中でも、はなばす号は有料老人ホームなどからの問い合わせもあることから、協力して人材の確保や活動の頻度の調整、人材育成方法などを早急に進める必要があることを確認した。広報活動は知名度を上げるため、チラシ配布や寄付のお願い、支援団体との交流、助成金制度の活用方を検討した。

花育やからふぁんについてもグループを作成し進めることとする。